

# 特別活動（ホームルーム活動）学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇曜日）第〇校時 1 年〇組教室 指導者 T 1 〇〇 〇〇  
T 2 〇〇 〇〇

## 1 単元名 進路について考えよう ―「自分らしさ」を発見して自己実現に向けた目標を決めよう―

### 2 考察

#### (1) 単元観

本単元は、文部科学省『高等学校学習指導要領』の第5章第1目標（3）「自主的，実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして，主体的に集団や社会に参画し，生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての在り方生き方についての自覚を深め，自己実現を図ろうとする態度を養う」、また第2各活動・学校教育の目標及び内容【ホームルーム活動】1目標「ホームルームや学校での生活をよりよくするための課題を見いだし，解決するために話し合い，合意形成し，役割を分担して協力して実践したり，ホームルームでの話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに，自主的，実践的に取り組むことを通して，第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す」の部分に基づく。学習する内容として，2内容（3）一人一人のキャリア形成と自己実現ア「学校生活と社会的・職業的自立の意義の理解」を扱う。

本単元では、生徒たちが目の前の学習活動に取り組む意味や価値に気づき、充実感や自己肯定感をもって生活を送ることができるようにしたい。そのような生活を送れるようにすることを通して、社会の中で自分のよさを発揮しながら様々な役割を果たそうとする意識を高め、それぞれの生徒にとって社会的・職業的な自立のために必要となる力をより伸ばしていきたいと考える。

そのために、まず将来自分がどのようになっていきたいか具体的にイメージをするため、こう在りたいと思う「社会人1日目」の自分の姿を設定して記入する。

次に、「今していること（できていること）」・「これからできるようになりたいこと」の横軸、「得意なこと」・「苦手なこと」の縦軸の座標面に、「基礎的・汎用的能力」を具体化したカードを生徒が配置していくことで、これまで家庭、学校、地域等の様々な生活場面において生徒自身が自分なりに積み重ねてきた経験や学習を明らかにし、「今の自分」のキャリア発達の様子を視覚的に理解できるようにする。

そして、配置したカードの中で、どのカードの内容がこう在りたいと考えた自分になるために一番関係があるかを考え、そのカードを座標面の中で「いつまでに」「どの位置に置けるようになりたいか」をカードの操作を通して決め、そのために「どんな場面で」「どんな行動をする」か生徒が設定することを通して、自己実現に向けた学習内容、学習場面等を明確化し、その後の学習につなげていく。

#### (2) 生徒の実態及び指導方針

本クラスは、生徒6名で編成されている。軽度の知的障害に加え、注意欠陥多動症や自閉スペクトラム症の傾向のある生徒がいる。そのため、音声言語だけでなくスライド資料等を用いた視覚的指示も併せながら、それぞれの生徒に対して個別に支援をしていく必要がある。

生徒たちは高等部に入学し、将来の自分の生活や仕事のことについて考え始めたばかりで、日々の学校生活や作業学習、就労支援員の話聞くこと等を通して、社会人としての心構えをこれから身に付けようとしている段階である。将来の自分の姿を具体的に思い描き、その実現に向けて今何をすべきか、ということを経験はまだ少ない。そうした経験を積み重ね、自分の今後の生活をよりよくしようという意欲をもつことは、本クラスの生徒たちにとって大きな課題となっている。

本題材に関わる生徒の個別の実態は以下の通りである。（省略）

#### <指導方針>

- ・活動内容が理解しやすくなるように、スライド資料を活用して生徒に合わせて視覚支援を行う。なお、赤緑色覚異常のある生徒が視覚からの情報を得やすくなるように、色使いやコントラスト等に配慮する。
- ・将来の自己実現への意欲を高めたり、自己肯定感を得たりできるように、それぞれの生徒のできたことや頑張ったことを自己実現に向けてのスモールステップの積み重ねと捉え、「〇〇までできましたね」、「□□だったので△△ができましたね」等と、生徒が自分なりに頑張った姿を具体的に称賛する。
- ・間違いを恐れず、落ち着いた気持ちで前向きに活動に取り組めるように、「間違っても大丈夫ですよ」「よくできていますよ」等と、本人の頑張りを尊重した受容的な言葉掛けをする。
- ・活動に集中できるように、必要のない物は片付ける等、教室の環境を整理する。

### 3 研究との関わり

本県においては、平成25年3月に策定された『群馬県特別支援教育推進計画』に基づき、県内の特別支援学校高等部が未設置だった地域全てにおいて高等部が新設された。加えて、本県には全国的に珍しい高等特別支援学校が複数設立されている。そうした中で、『第2期群馬県特別支援教育推進計画』において特別支援学校における教育の充実の現状と課題として、「すべての子どもが自立・社会参加するためには、引き続き、一人一人の卒業後のニーズに合ったキャリア教育を実践し、卒業後も学び続け成長し続けられるよう研究を推進します」ということが示されている。

知的障害特別支援学校高等部において、「将来こう在りたい自分」と「今の自分」をつなげるためのキャリア教育の実現を目指して、自己実現に向けた「自分らしさ発見シート」の中でキャリア発達上の課題を「見える化」し、生徒が学習への納得感と見通しを獲得できるようにする。そのことによって、「今の自分」をよりよくしようという意欲をもって生徒が学習に取り組めるようにすることの有効性を明らかにしたいと考えた。そこで、特別活動（ホームルーム活動）の「進路について考えよう」という単元において、「自分らしさ発見シート」を用いて「基礎的・汎用的能力」を具体化したカード（以下、カード）を分類・整理し、それを手掛かりに将来の自己実現に向けた取組内容を考える活動を設定した。この活動を通して、生徒が「将来こう在りたい自分」の実現に向けて目の前の学習活動に納得し、見通しをもって取り組めるようになるかどうか、また、「自分らしさ発見シート」が生徒にとって分かりやすく、使いやすいシートになっているか、ということについて検証する。

### 4 単元の目標

- 将来の社会的・職業的な自立と現在の学習がどのように関わるかということを理解する。  
(将来の自己と学びを結び付けるために必要な知識・技能)
- 自己実現に向けた自らの取組内容を設定し、自分にとって必要だと考えた行動を実践する。  
(自己の生活課題を改善するための思考・判断・表現)
- 将来の自己実現に向けて、現在の自己の在り方をよりよくしようとする意欲を高める。  
(主体的に自分らしさを発見し、将来に生かそうとする態度)

### 5 指導計画

#### (1) 評価規準

評価の観点	趣旨

将来の自己と学びを結び付けるために必要な知識・技能	将来の社会的・職業的な自立と現在の学習がどのように関わるかということを理解している。
自己の生活課題を改善するための思考・判断・表現	自己実現に向けて自らの取組内容を設定し、自分にとって必要だと考えた行動を実践している。
主体的に自分らしさを発見し、将来に生かそうとする態度	将来の自己実現に向けて、現在の自己の在り方をよりよくしようとしている。

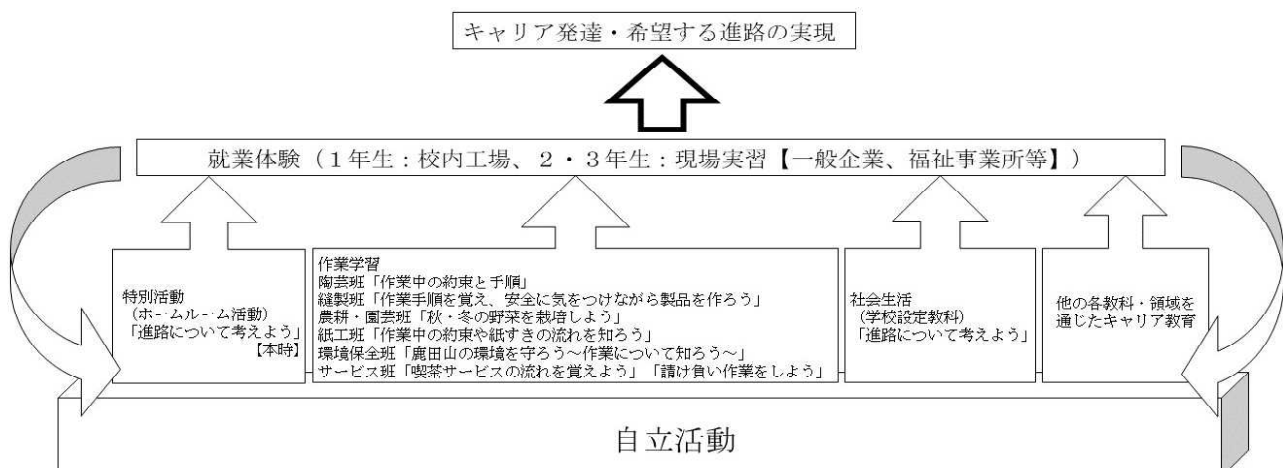
(2) 単元計画（全3時間 事前の活動→本時の活動→事後の活動）

時間	学習活動	目指す生徒の姿（◇…研究の検証に関わる姿）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
第1時 事前の活動	<p>○ 題材を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来どのような自分になりたいか、そのためには今どのようなことに取り組む必要があるか考える。</li> </ul> <p>【めあて】 「社会人1日目にどんな自分になっていたいか考えよう」</p> <p>○ 問題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「将来こう在りたい自分」の姿を具体化してワークシートに記入する。</li> <li>・ 「将来こう在りたい自分」の姿を発表し、クラスの友達と互いに、その実現に向けてのアドバイスをし合う。</li> <li>・ 「将来こう在りたい自分」の姿の実現に向けて、これから頑張りたいことをワークシートに記入する。</li> </ul>	<p>◇ 「将来こう在りたい自分」の姿を具体化し、ワークシートに記入している。</p> <p>＜記述＞</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラスの友達の「将来こう在りたい自分」の姿の発表を聞き、それを実現するためにどうすればよいか、互いにアドバイスし合っている。</li> </ul> <p>＜発言・行動＞</p> <p>◇ 友達からアドバイスを受けて、将来こう在りたい自分「今の自分」の姿との相違に気付き、これから頑張りたいことをワークシートに記入している。</p> <p>＜記述＞</p>
第2時 本時の活動	<p>○ つかむ（課題の把握）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時に記入したワークシートや、友達からのアドバイスの内容を確認する。</li> </ul> <p>【めあて】 「なりたい自分になるために、これから頑張ることを決めよう」</p> <p>○ さぐる（可能性への気付き）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「自分らしさ発見シー</li> </ul>	<p>◇ 「自分らしさ発見シート」の作成の仕方を理解し、自分なりの考えをもってカードを分類・整理している。</p> <p>＜発言・行動＞</p>	<p>◇ 「将来こう在りたい自分」の姿の実現に向けて、「今の自分」がどのような力を「いつまでに」身に付けたいか、カードを操作しながら考え、そのために「どんな場面で」「どんな行動をする」かを設定し、「自</p>	

	<p>ト」の座標面でカードを分類・整理する活動を通して、「今の自分」のキャリア発達の様子を視覚的に理解する。</p> <p>○ 決める（個人目標の意思決定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己実現に向けた学習内容、学習場面等を明確化して「自分らしさ発見シート」に記入し、クラスで発表する。</li> </ul>		<p>分らしさ発見シート」に記入し、発表している。</p> <p>＜発言・記述＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手に伝わる声の大きさや態度を意識して、シートに記入した内容を発表している。</li> </ul> <p>＜発言・行動＞</p>	
第3時 事後の活動	<p>○実践したことを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作成した「自分らしさ発見シート」の内容を確認する。</li> </ul> <p>【めあて】</p> <p>「自分が立てた目標をどこまで達成できたか振り返ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分で設定した目標の現時点での達成度を自己評価し、クラスで発表する。</li> <li>前時の授業の時から本授業までの間で見かけた、クラスの友達が目標達成のために頑張っていた姿を互いに伝え、認め合うことで、「今の自分」をよりよくしようとする意欲を高める。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスの友達がこれまで目標達成に向けて頑張ってきた姿に気づき、それを自分なりの表現で相手に伝えている。</li> </ul> <p>＜行動・発言＞</p>	<p>◇第2時授業からこれまでの間の自分の生活や学習を振り返り、座標面の中でカードの位置の変化を確認し、そのために「できたこと」、「もう少しでできそうなこと」をワークシートに記入している。</p> <p>＜記述＞</p>

### (3) 単元の系統イメージ図

自立活動を基盤とした各教科等での学習を通して、生徒は就業体験での学びを充実することができる。そして就業体験の中で見つけた課題を日々の学習に還元してさらに学びを深め、生徒のキャリア発達や希望する進路の実現につなげていく。研究協力校ではこのように教育課程全体を通じてキャリア教育を行っている。これをイメージしたのが以下の図である。



「自分らしさ発見シート」で決めた取組内容を生徒が実践するための一つの間として、本単元の期間中（本時～第3時授業間）の就業体験を位置付けている。本時で学習した内容を学校生活だけでなく、実際の仕事の現場でも発揮し、それぞれの生徒が得た経験を本単元第3時授業で振り返る。「自分らしさ発見シート」の内容を実践しようという意識を生徒が日常的にもつための手立てとして、「自分らしさ発見シート」に記入する生徒の姿を写真等にして教室の生徒の目に入りやすい場所に常時掲示したり、クラスの日誌や就業体験の実習日誌を活用したりする。

## 6 本時の展開

### (1) ねらい

<全体>

- ・「自分らしさ発見シート」の座標面にカードを分類・整理し、「将来こう在りたい自分」の実現に向けて、「今の自分」が身に付けている力を視覚的に理解する。

【将来の自己と学びを結び付けるために必要な知識・技能】

- ・「将来こう在りたい自分」の姿の実現に向けて、これからどのような力を「いつまでに」身に付けていきたいかカードの操作を通して決め、そのために「どんな場面で」「どんな行動をする」かを設定し、クラスで発表することを通して、自分の考えを相手に伝える。

【自己の生活課題を改善するための思考・判断・表現】

<全体のねらいを達成するための個別のねらい（自立活動の指導との関連より）>

- A ・示された見本と手順表を参考にして、自分から進んでカードを分類・整理する活動に取り組む。
- B ・その場に相応しい姿勢を保持しながら、落ち着いた気持ちで活動に取り組む。
- C ・「将来こう在りたい自分」の実現に向けて、今後の自分の生活や学習を調整しようという意識を高める。
- D ・必要に応じて相談や質問をしながらカードを分類・整理する活動に取り組む。
- E ・「自分らしさ発見シート」に記入した内容を、相手に伝わる大きさの声で発表する。
- F ・その場に相応しい言葉遣いで、「自分らしさ発見シート」に記入した内容を発表する

- (2) 準備 前時に記入したワークシートⅠ、「自分らしさ発見シート」、カード、「自分らしさ発見シート」の記入の手順を示したスライド資料、TV1台、次時の授業に向けたワークシートⅡ

### (3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	・指導上の留意点及び支援 ☆自立活動と関わる支援 (◎研究の検証に関わる支援 ◇研究の検証に関わる評価基準)
1 前時の内容を振り返る。 <予想される生徒の反応> 「そういえばこんなこと書いたっけ」 「〇〇君からこんなアドバイスを受けていたな」 「〇〇はできるようになった」等	2分	・前時の内容を思い出せるように、前時に作成したワークシートⅠをそれぞれの生徒に提示し、記入した「将来こう在りたい自分」の姿の部分を読むよう促す。 ☆ワークシートⅠのどの部分を読めばよいか分かるように、必要な生徒には「将来こう在りたい自分」の姿が記入してある部分を指差しや言葉で示す。 (A、D)
2 本時のめあてをつかむ。	1	・前時の内容と本時の内容とのつながりが分かるよ

<p>【めあて】 「なりたい自分になるために、これから頑張ることを決めよう」</p>	分	<p>うに、「将来に向けて、まずは今の自分の姿を振り返ってみよう」と言葉を掛ける。 ☆本時のめあての内容が分かるように、めあてを示した部分に注目するよう促す。(全員)</p>
<p>3 スライド資料で示された「自分らしさ発見シート」に記入する手順を参考にして、活動内容を把握する。 ＜予想される生徒の反応＞ 「〇〇の部分が難しそう」 「手順表を見てみよう」 「カードがたくさんあって大変そうだな」等</p>	5分	<p>☆「自分らしさ発見シート」の使い方が分かりやすくなるように、スライド資料の視覚効果を用いながら記入の手順を示す。(全員) ☆説明の内容が分かりやすくなるように、教師の方を向いて姿勢を正して話を聞くよう促すとともに短い簡単な言葉で説明する。(B、D) ☆手元に置いていつでも手順を確認できるように、必要な生徒にはスライド資料の内容を手順表にして配付する。(A、D) ◇教師の話を聞いて頷いていたり、分からない部分があったら質問したりしている。</p>
<p>4 カードの内容を理解する。 「〇〇とはどんな意味だろう」 「□□のカードについて質問しよう」等</p>	4分	<p>◎カードに書かれた内容を理解してから活動に取り組めるように、配付したカードを一人一人読む時間を設け、知らない言葉や意味の分からない内容のカードがあったら質問するよう促す。 ◇カードについて分からないことがあったり、難しい内容だと感じたりしたら、教員に質問している。</p>
<p>5 「自分らしさ発見シート」で示された座標軸に従ってカードを分類・整理し、「今の自分」にどのような力が身に付いているかを視覚的に理解する。 ＜予想される生徒の反応＞ 「このカードはどこに置けるかな？」 「〇〇は得意だな」 「自分にはこんな力が身に付いていたのだな」等</p>	18分	<p>・自信をもってカードを分類・整理できるように、できている部分のよい点を具体的に挙げ、称賛する。(全員) ☆目盛りを参考にしてカードの位置を考えられるように、各座標軸の目盛りが象限の中で交わる様子を指でなぞって示す。(D) ◎カードの置き場所に悩んでいる様子が見られたら、前時のワークシートⅠを参考にするよう促したり、「〇〇の時はどのようにしていましたか？」等とこれまでの生活や学習の経験と関連させて考えられるような言葉掛けをしたりする。 ◇これまでの学習や生活を振り返りながら、手順に沿って「自分らしさ発見シート」を用いてカードを分類・整理している。</p>
<p>6 なりたい自分になるために一番関係があると思うカードを1枚選び、そのカードを座標面の中で「いつまでに」「どの位置に置きたいか」をカードの操作を通して決める。 ＜予想される生徒の反応＞ 「〇〇のカードを少し得意にしたいな」 「□□の時までには一人でできるよう</p>	5分	<p>・カードを選ぶ手掛かりになるように、「色の濃いカードから薄いカードへと順番に考えてみましょう」と言葉を掛ける。 ◎赤く縁取りをした「までに」のカードを用いて、5で選んだカードを座標面のどこに置きたいか考え、いつまでその位置に置けるようになりたいか、学校行事の予定等も伝えながら、具体的な日付を記入するよう促す。</p>

<p>「なっていたいな」等</p> <p>7 自分で決めた位置にカードを置くようになるために、「どんな場面で」「どんな行動をする」という取組内容を設定し、「自分らしさ発見シート」に記入する。</p> <p>＜予想される生徒の反応＞</p> <p>「〇〇ができるようになりたいな」</p> <p>「〇〇のためには△△をしなければならぬな」</p> <p>等</p>	<p>8 分</p>	<p>☆目盛りを参考に座標の位置で考えられるように、座標軸の目盛りが象限の中で交わる様子を指でなぞって示す。(D)</p> <p>◎どこに置けるようになりたいか悩んでいる様子が見られたら、「もっと得意にしたいですか?」、「自分のよさのところに置きたいですか?」等と、座標軸の目盛りや、座標面の象限に着目して考えられるような言葉掛けをする。(全員)</p> <p>◇座標軸の目盛りや、座標面の象限、学校行事の予定等を根拠にして、選んだカードを「いつまでに」、「どの位置に置けるようになりたいか」を決めている。</p> <p>☆落ち着いた気持ちで安心して文章を書いたり、自分の考えを表現したりできるように、書く内容に間違いはないということ、まずは自分なりの表現で書いてみることを大切ということを伝える。(全員)</p> <p>☆集中して活動に取り組めるように、よい姿勢を保持して、丁寧な字で「自分らしさ発見シート」に記入するよう伝える。(B)</p> <p>◎取組内容の設定に悩んでいる様子が見られたら、前時のワークシートⅠを参考にするよう促す。</p> <p>◇自己実現に向けた学習内容、学習場面等を「自分らしさ発見シート」の中で明確化している。</p> <p>・発表の場面で生徒が発表しやすくなるように、それぞれの「自分らしさ発見シート」をデジタルカメラで撮影する。【T2】</p>
<p>8 「将来こう在りたい自分」の姿を実現するために、自分で設定した取組内容を発表する。</p> <p>＜予想される生徒の反応＞</p> <p>「うまく発表できるだろうか」</p> <p>「〇〇さんはあんなことを目標にしたのだな」 等</p>	<p>5 分</p>	<p>・生徒が発表する時の手掛かりになるように、記入した「自分らしさ発見シート」を撮影した写真をTVに写し、一人ずつ紹介する。【T2】</p> <p>・安心して発表できるように、読み間違っても大丈夫なこと、自分なりに取組内容を考えて決められたことが大切であることを伝える。</p> <p>☆発表するのに相応しい態度や言葉遣いが分かるように、よい例と悪い例をロールプレイで示したり、友達の発表の仕方を参考にするよう伝えたりする。(B、F)</p> <p>☆どのくらいの声の大きさを発表すればよいか分かるように、発表する声の大きさの手本を示したり、友達の発表の様子を参考にするよう伝えたりする。(E)</p> <p>☆どの部分を発表すればよいか分かるように、読む部分を指差しや言葉で示す。(D)</p> <p>◎発表を通して「今の自分」をよりよくしようとい</p>

9 本時の内容を振り返り、次回の授業へ見通しをもつ。

<予想される生徒の反応>

「友達のことをよく見ていよう」

「友達がどんなことを頑張ったか、見付けられるだろうか」

「自分は目標を達成できるだろうか」

等

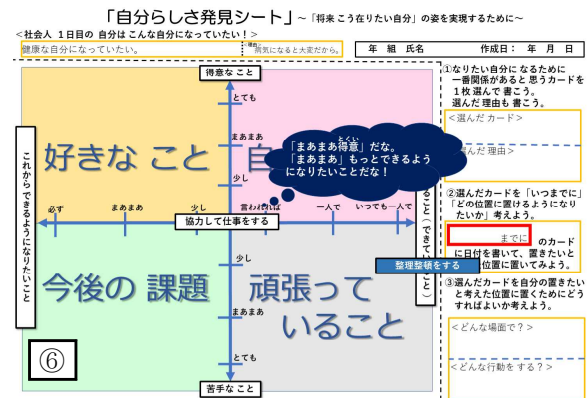
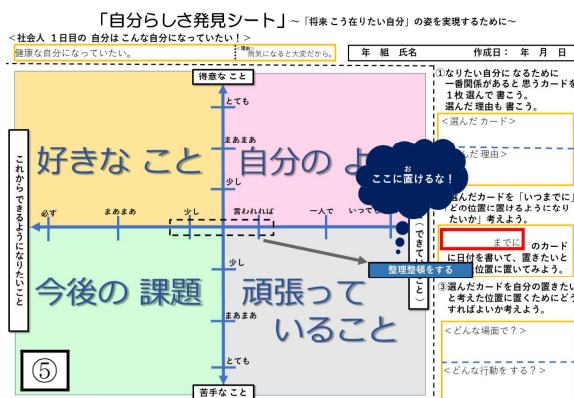
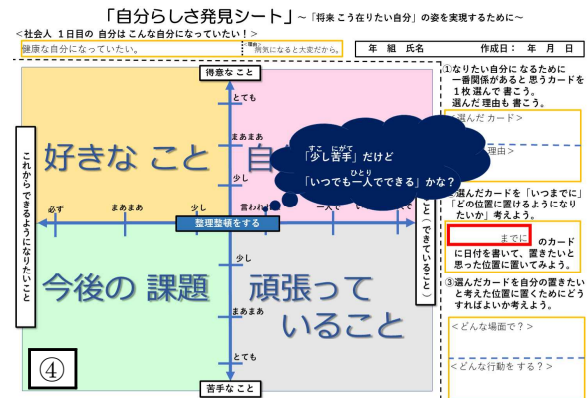
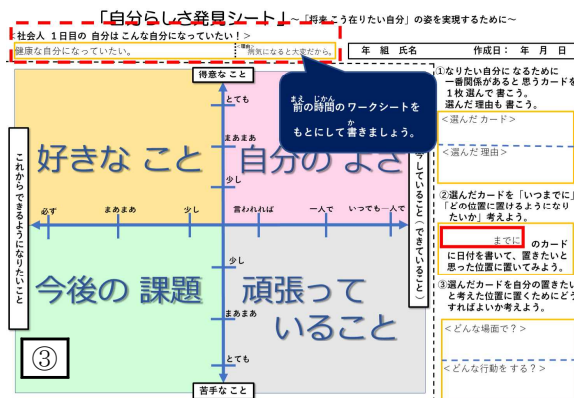
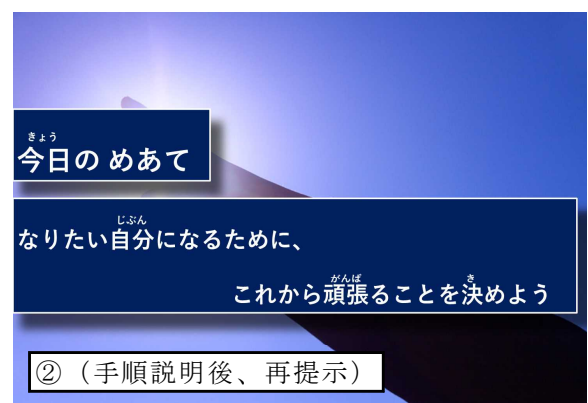
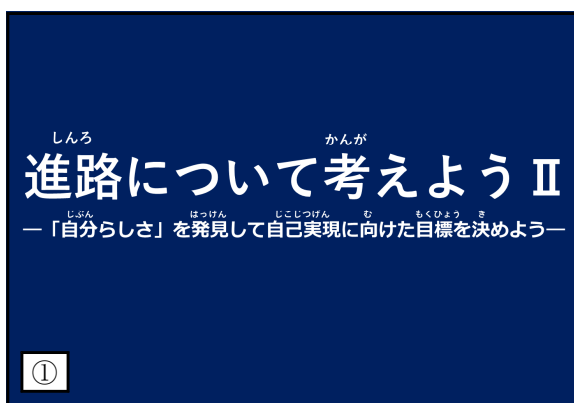
2 分

う意欲が高められるように、自分なりに考えて発表できたことをその都度称賛する。

◇「何のためにするのか」、「いつまでに」、「どのようなことをするのか」ということを明確にして発表している。

・次回の授業へ見通しがもてるように、次回の授業の内容を簡単に予告し、クラスの友達が目標達成に向けて頑張っている姿を見かけたら記録しておくためのワークシートⅡを配付する。

#### (4) スライド資料





「自分らしさ発見シート」～「将来こういたい自分」の姿を実現するために～

＜社会人 1 年目の 自分はこんな自分になっていた！＞

理想な自分になっていた。 （理想になることと現実がかなり）

年 組 氏 名	作成日	年 月 日
今 年 組 氏 名	作成日	年 月 日

得意なこと

とても

少し

ほとんど

「とても苦手」だけど

「必ず」できるように努力しないと

自分のよさ

一人ですべてやっていた（一人で）

一人で

いつも一人で

体力をつけられ

少しくらい

まあまあ

必ず

今後の課題

頑張っていること

まあまあ

少し

とても

苦手なこと

⑧

①なりたて自分になるために  
～仲間がいる～と思うカードを  
1枚選んで書く。  
選んだ理由も書く。

＜選んだカード＞

＜選んだ理由＞

②選んだカードを「いつまで」  
この位置に置けるようになったら  
いいか？ 考えよう。

③選んだカードを自分の好きない  
と書いた言葉と一緒に下に書き  
すればよい考えよう。

＜どんな場面です？＞

＜どんな行動をする？＞

④「主語」を「自分」で書き  
「主語」を「自分」で書き  
「主語」を「自分」で書き

[illegible]

カードを<sup>すべて</sup>置き<sup>お</sup>終わ<sup>お</sup>ったら  
次<sup>つぎ</sup>にすること！

[illegible]

[illegible]

「自分らしさ発見シート」～「将来こうなりたい自分」の姿を実現するために～

＜社会人 1日目の 自分はこんな自分になりたい！＞

「何かにやることと完成が、」

年 月 日 氏 名 作成日： 年 月 日

---

得意なこと

とても 少しいつでも一人で

協力して仕事をやる

自分のよさ

必ず ままある 少し 奮われば 一人で いつでも一人で

今後の課題

頑張るって

月日までに

⑧をつける

苦手なこと

とても

きこく  
聴後に、どうやって目標を  
たっかい  
達成するか考えよう。

もひひく  
きこく  
場面では？  
頭、早く起きた時に  
くどんな行動をする？  
しっかりラジオ体操をする。

なりたい自分になるために  
～一番関係があること～  
1枚選んで書く。  
選んだ理由も書く。

<選んだカード>  
体力をつける  
選んだ理由①  
あまり体力がないから。

②選んだカードを「いつまでに」「どこ位置に置けるようになりたいか」考えよう。

③選んだカードを自分の胸に貼って、  
「どうやったら、自分のようになれるか」考えよう。

④選んだカードを自分の胸に貼って、  
「どうやったら、自分のようになれるか」考えよう。